

SpyderExpress ユーザーガイド (Version 1.0)

Table of Contents

製品仕様	3
はじめに	4
同梱物	4
システム要件	4
ソフトウェアのダウンロードとアクティベート	4
使用前の準備	6
STEP 1 – ディスプレイの使用目的を選択	7
STEP 2 - キャリブレーション	8
STEP 3 – 結果を確認!	9
SPYDERUTILITY	10
1. プロファイル管理	10
2. ワンクリックキャリブレーション	11
サポート	12

製品仕様



電源要件	5V DC、100mA、PC の USB ポートから給電
サイズ	幅: 44.8mm 高さ: 76.0mm 奥行き: 79.1mm 重量: 140g
動作環境	動作温度: 5°C ~ 40°C 最大相対湿度: 31°C まで最大 80% 40°C では 50% まで直線的に減少 最大使用高度: 2000 メートル
認証	SGS, CSA, C-Tick, CE

本製品は、製造元の仕様および本書の使用方法・メンテナンス指示に従ってご使用ください。指定以外の方法で使用した場合、製品の安全性が損なわれる可能性があります。

本社住所:

Datacolor, Inc.
5 Princess Road
Lawrenceville, NJ 08648

製造拠点:

Datacolor Suzhou
288 Shengpu Road
Suzhou, Jiangsu
P.R. China 215021

はじめに

SpyderExpress ディスプレイキャリブレーターをご購入いただきありがとうございます。本ガイドでは、**SpyderExpress** ソフトウェアを使用して、ディスプレイから最も正確な色を得る方法をご案内します。

同梱物

- Spyder センサー本体
- シリアル番号
- ソフトウェアおよびサポートリソースへのリンクが記載されたウェルカムカード
- USB-A アダプター

システム要件

- Windows 10 (32bit/64bit), 11
- macOS 10.14 (Mojave) - macOS 26 (Tahoe)
- 最低解像度: 1280x768
- 16 ビット以上のグラフィックカード (推奨: 24 ビット)
- 最低 1GB の RAM、500MB の空きディスク容量
- ソフトウェアダウンロード用のインターネット接続
- USB-C または USB-A ポート

ソフトウェアのダウンロードとアクティベート

以下の URL から **SpyderExpress** ソフトウェアをダウンロードし、ファイルを開いてインストールしてください:

<http://goto.datacolor.com/getspyderexpress>

SpyderExpress を PC の直接の USB ポートに接続してください。(キーボードやモニター、ハブ、延長ケーブルは使用しないでください)

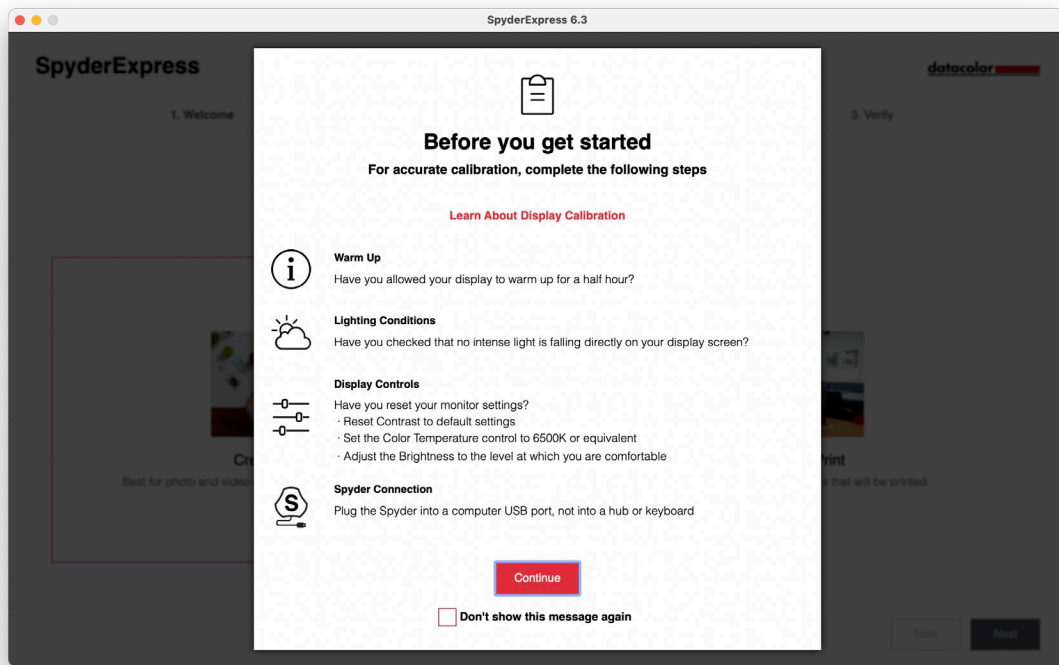
USB-C ポートがない場合は、同梱の USB-A アダプターをご利用ください。

SpyderExpress アプリケーションを開き、表示される手順に従ってソフトウェアをアクティベートしてください。

※ シリアル番号は、**SpyderExpress** の箱の中、センサーの下にあります。

アクティベーション後にライセンスコードが発行されます。紛失した場合は、以下のサポートページにお問い合わせください：<https://spyder-support.datacolor.com/>

使用前の準備



最初の画面では、最高の結果を得るためのディスプレイと環境設定に関する情報が表示されます。

- **ウォームアップ:** キャリブレーションの前にディスプレイの電源を 30 分以上入れておいてください。
- **照明条件:** ディスプレイに直接光が当たらないようにしてください。
- **ディスプレイ設定:** 初期設定にリセットし、HDR、自動輝度調整、その他の動的機能を無効にしてください。
- **SpyderExpress の接続:** ハブやキーボードを経由せず、PC 本体の USB ポートに直接接続してください。

これらの準備が完了したら、「続行」をクリックします。

Step 1 – ディスプレイの使用目的を選択

用途に応じて、画面の使用目的を選んでください。

印刷用の準備

- 色に厳密な編集が必要で、写真を印刷する予定の方に最適です。
- 自宅のプリンターでも、プロの印刷サービスでも活用できます。

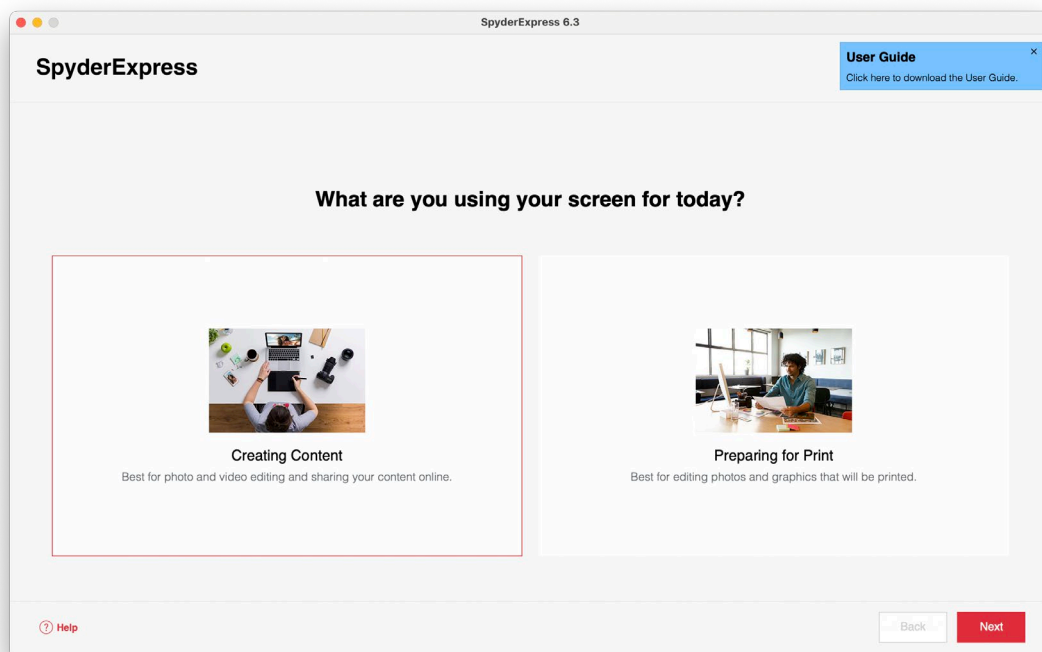
コンテンツ制作

- 主に SNS や Web での使用を目的とした写真・動画編集に最適です。
- デジタルスクリーンで一貫した色再現を実現します。

なぜ用途ごとに設定を変えるべきか？

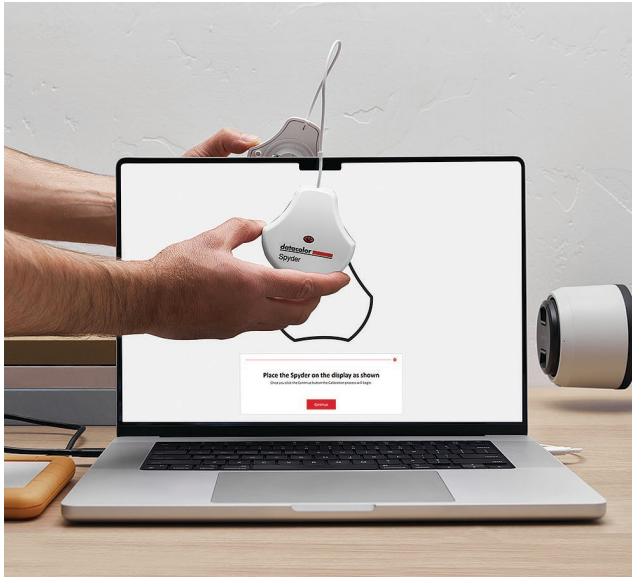
印刷物とデジタル画像は、表示される媒体や条件が大きく異なります。印刷は紙、インク、光に影響され、ディスプレイは明るさや色域によって大きく変わります。

用途に合わない設定を選ぶと、写真が暗すぎたり、編集時の色と異なる印刷結果になったりします。



Step 2 - キャリブレーション

SpyderExpress センサーを画面の中央に置きます。
センサーカバーを取り外すと、おもりとして機能し、画面にしっかり密着します。



画面を少し後ろに倒すと、センサーが自然に所定の位置に収まりやすくなります。

「続行」をクリックすると、画面上に一連のカラーが表示され、キャリブレーションが開始されます。

Step 3 – 結果を確認!

おめでとうございます！ モニターのキャリブレーションが完了しました。

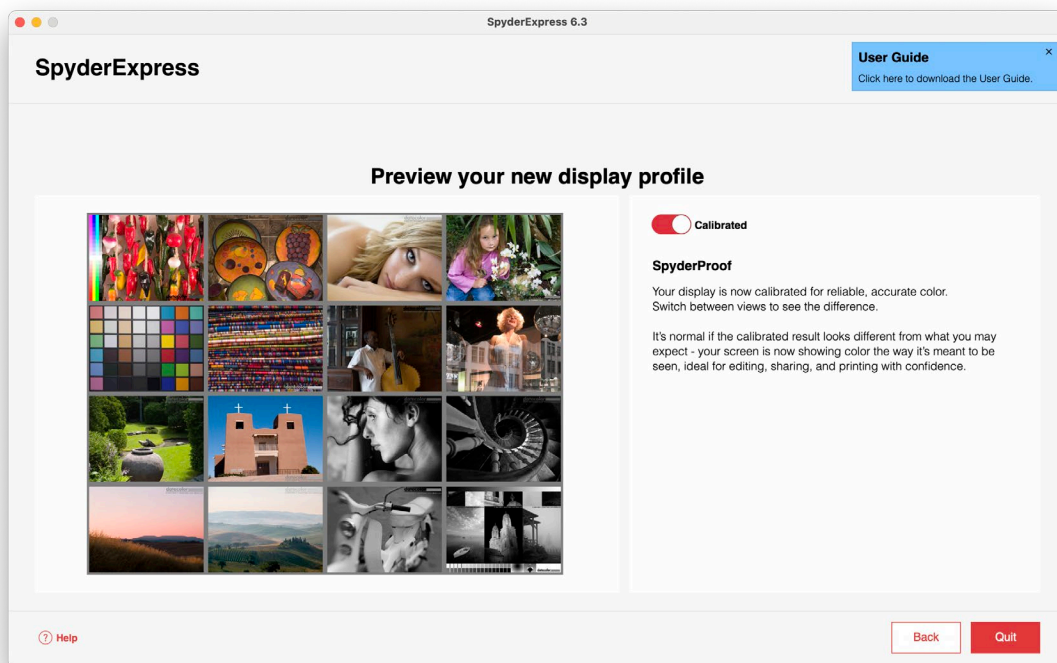
「補正前」と「補正後」の画面を比較し、色の違いをご確認いただけます。

次のような変化が見られることがあります：

- 色がやや落ち着き、自然に見える
- 明るさが標準レベルに調整される（特に印刷用に適正化）
- 暗部とハイライトのディテールがより鮮明に表示される

これは、ディスプレイが本来あるべき正確な色を表示できるようになったことを意味します。安心して編集・共有・印刷作業を行えます。

照明や作業環境が変化した場合は、色の一貫性を保つために再キャリブレーションをおすすめします。

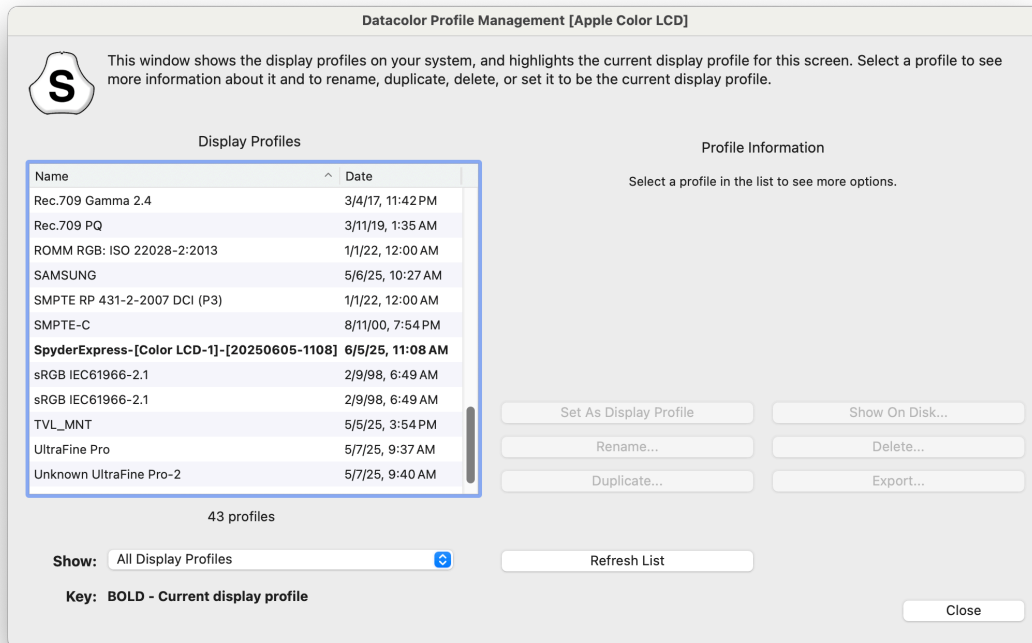


SpyderUtility

SpyderUtility は、Mac のメニューバーや Windows のシステムトレイに常駐し、PC の起動時にキャリブレーションプロファイルが正しく読み込まれるように管理します

1. プロファイル管理

- 複数のカラープロファイルを切り替える
 - 不要なプロファイルの削除や名称変更
 - 現在使用中のプロファイルの確認（リスト内で太字表示）
- 💡 ヒント：複数ディスプレイを使用している場合、ウィンドウを該当モニターに移動して管理可能です。



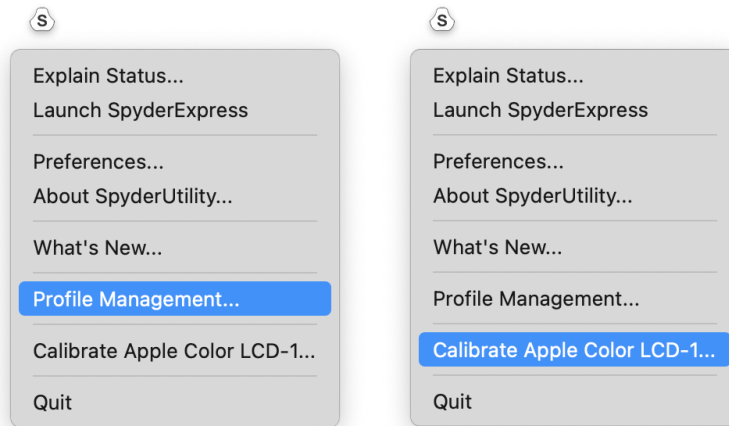
2. ワンクリックキャリブレーション

前回の設定を使用して、素早く再キャリブレーションを行えます。

※ 初回のフルキャリブレーションを完了してから使用できます。

SpyderUtility の起動方法

メニューバー (Mac) またはシステムトレイ (Windows) のアイコンをクリックして、使用したい機能を選びます。



補足

頻繁に使用する必要はありませんが、モニターの正確な色を維持するために重要なツールです。

サポート

よくある質問（FAQ）への回答や、追加のサポートは以下の公式サイトにて無料でご利用いただけます：spyder-support.datacolor.com